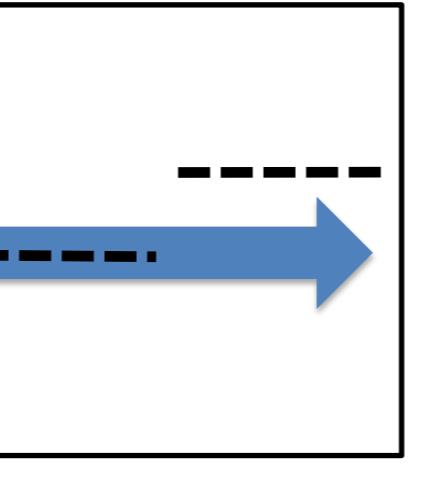
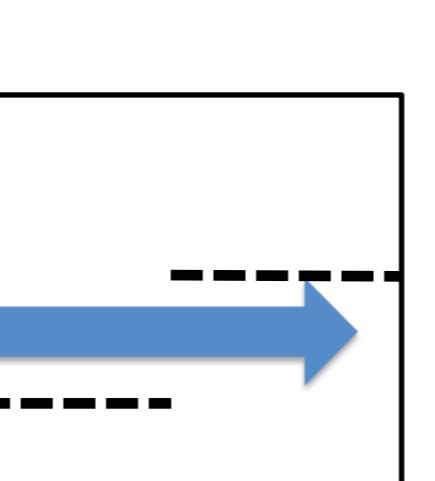
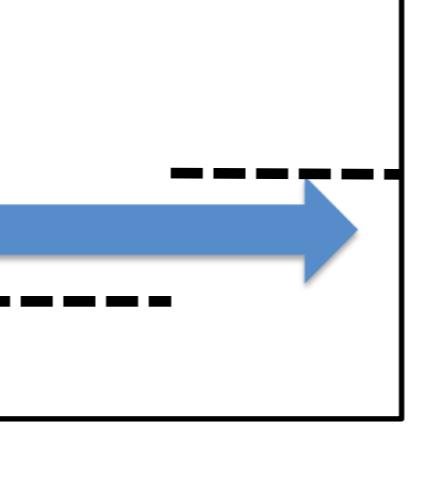
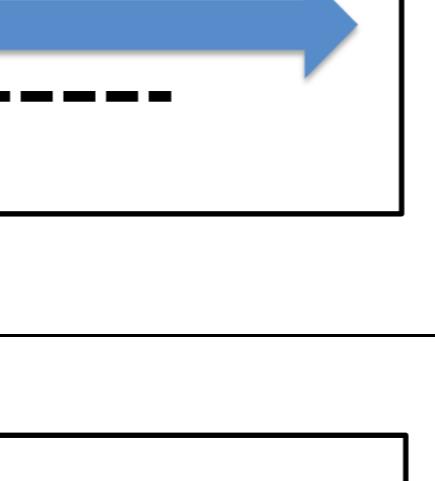
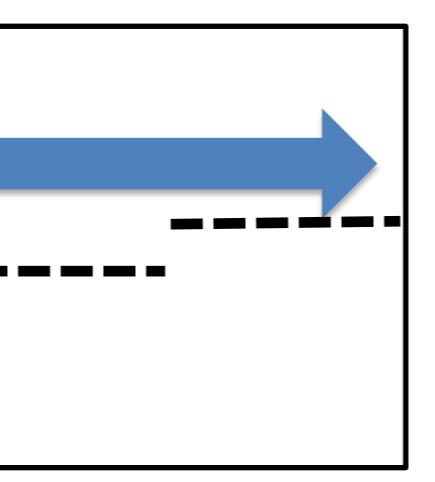
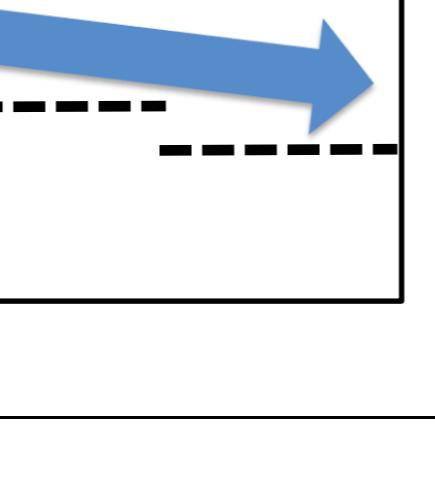
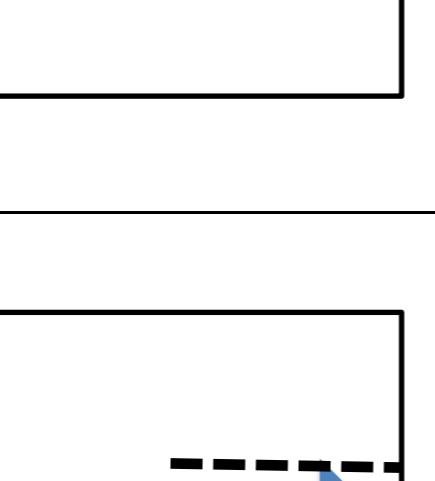
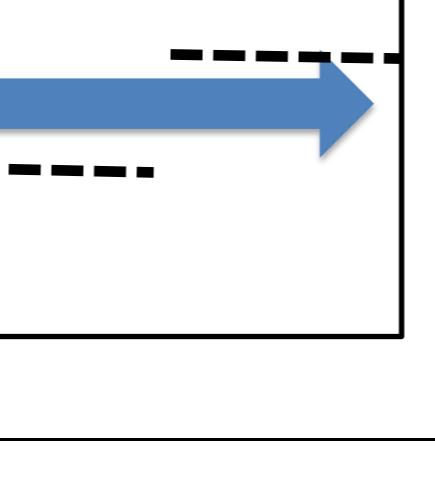
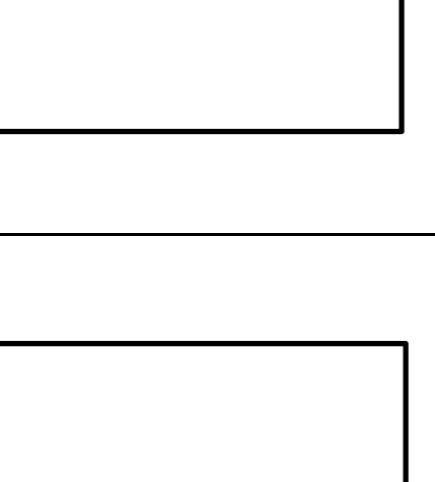
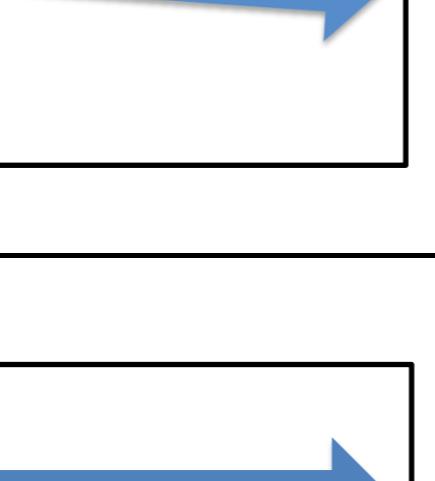
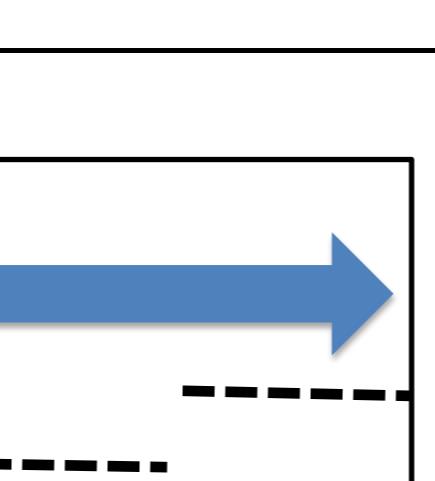
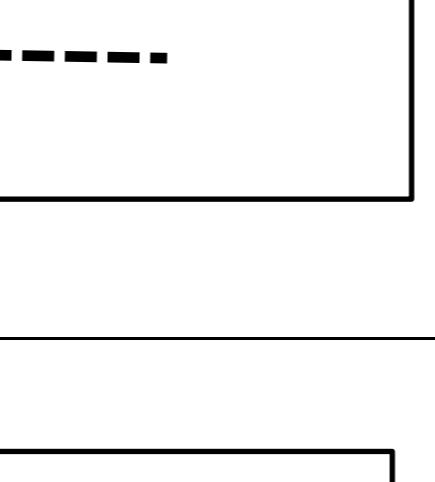
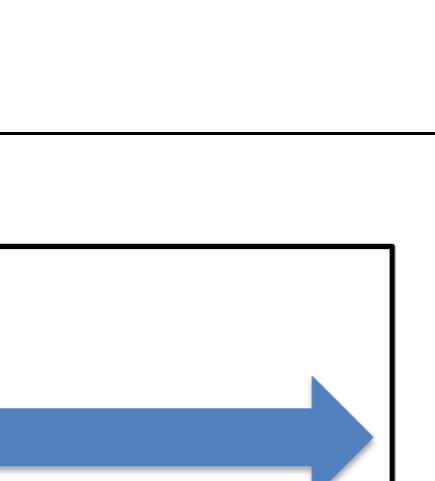
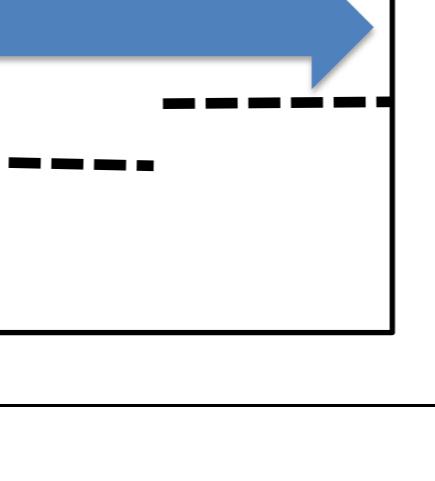
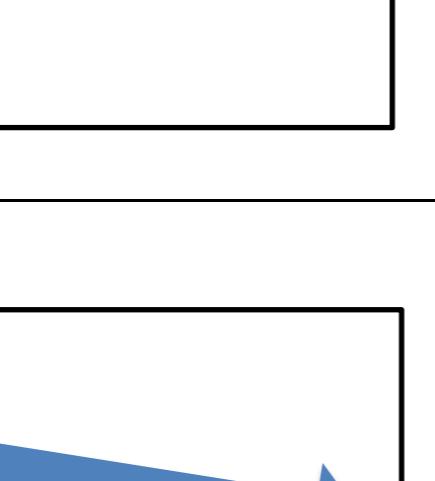
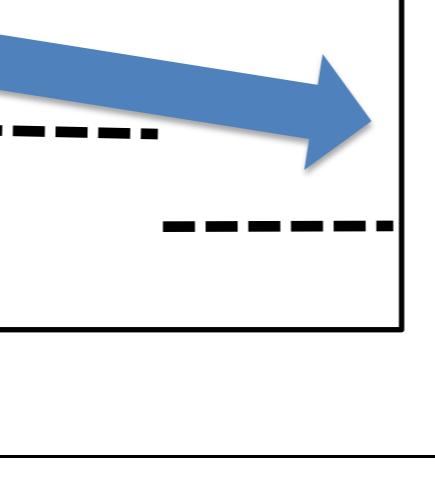
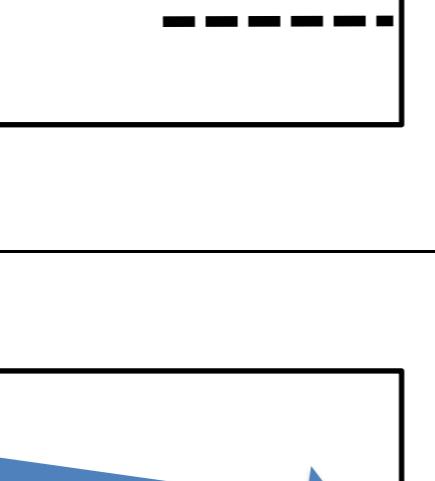
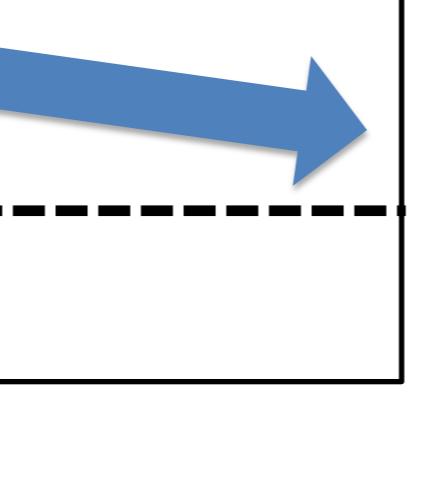
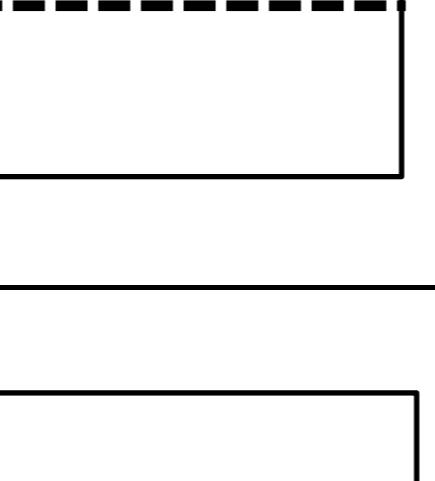
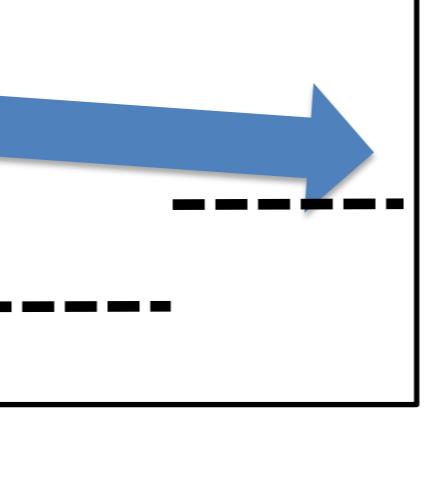
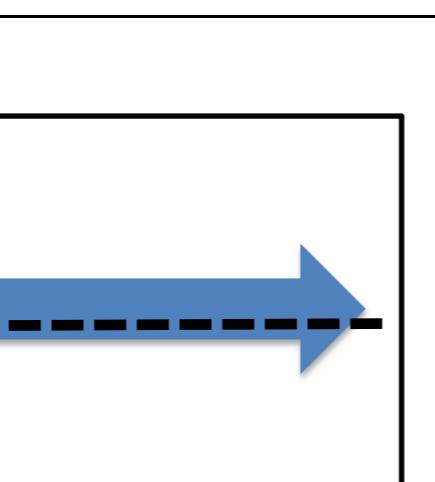
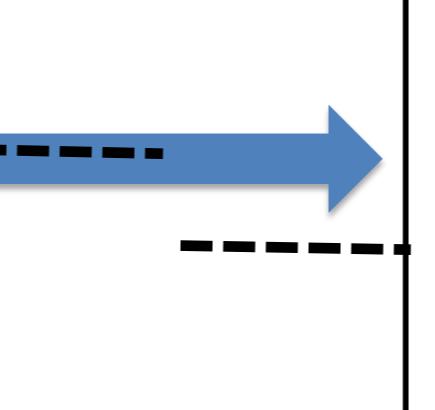
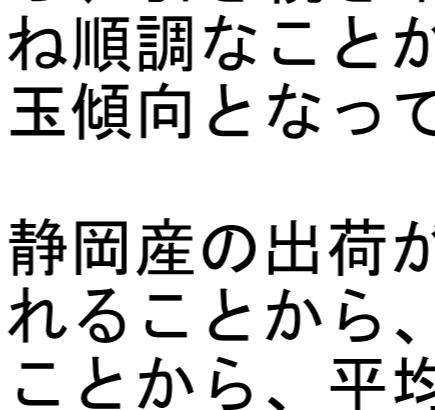
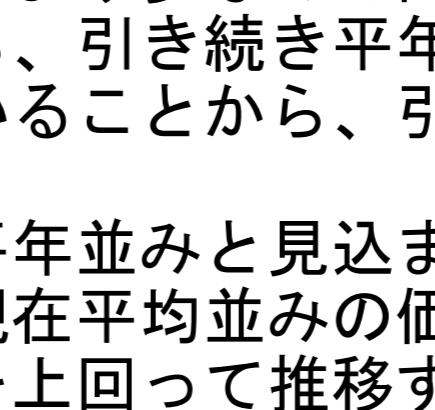
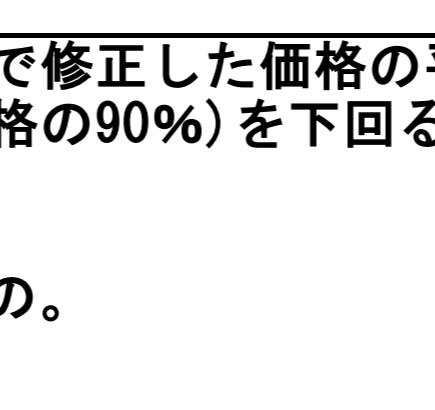
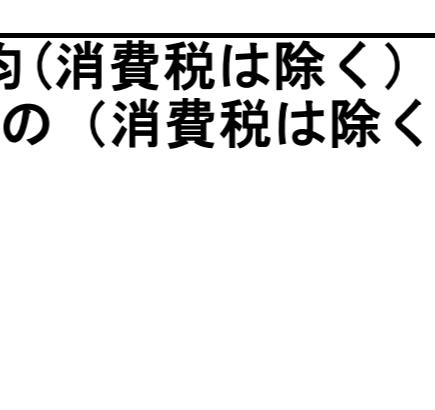
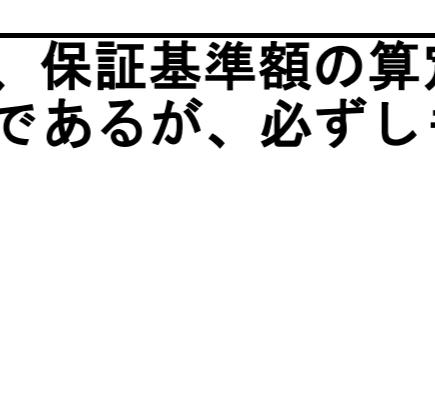


## 野菜の需給・価格動向レポート(平成29年6月26日版)

## 1 主要野菜の生産出荷状況

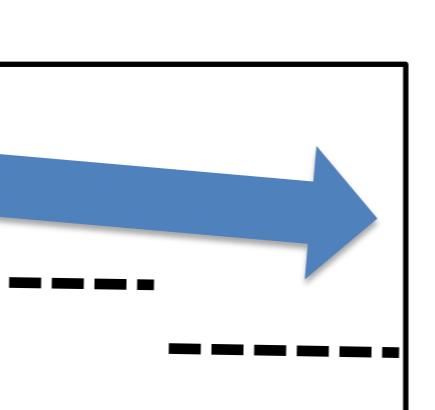
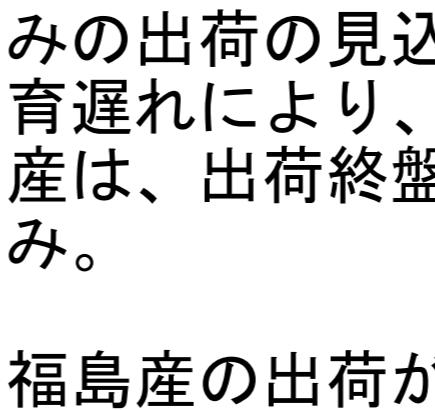
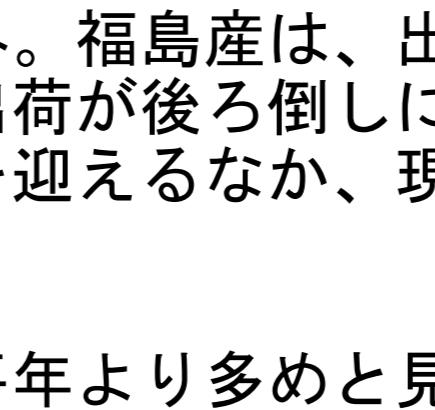
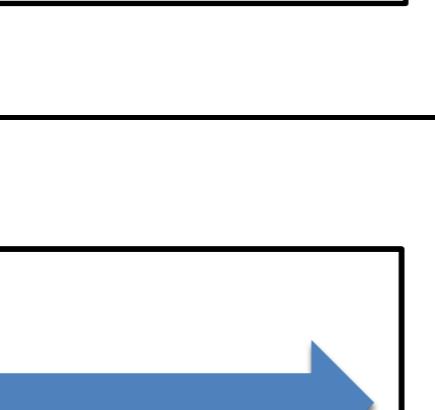
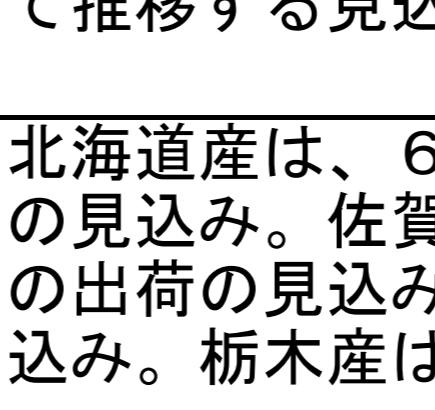
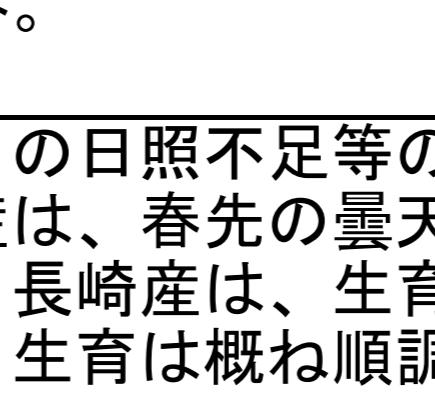
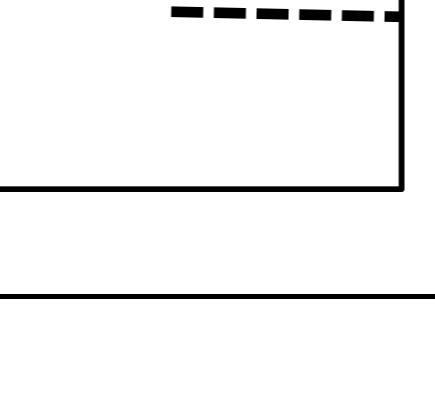
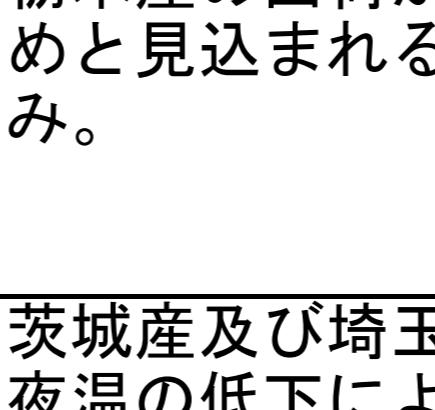
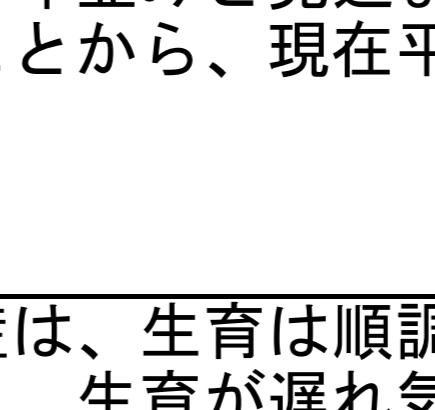
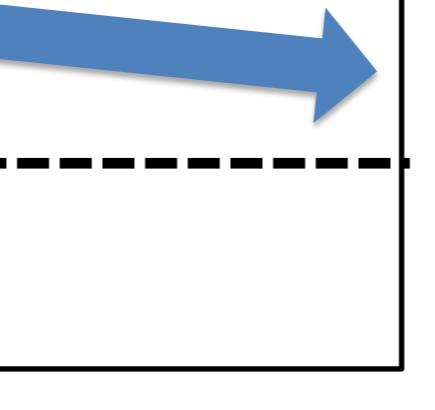
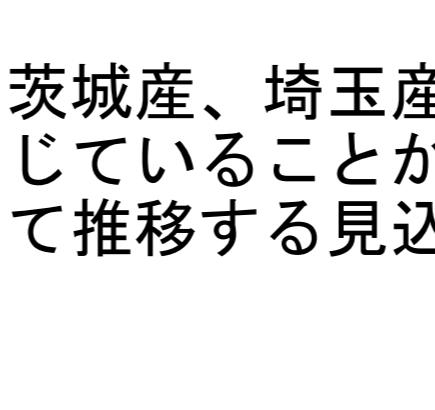
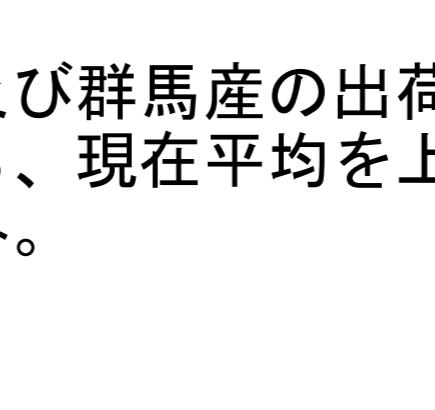
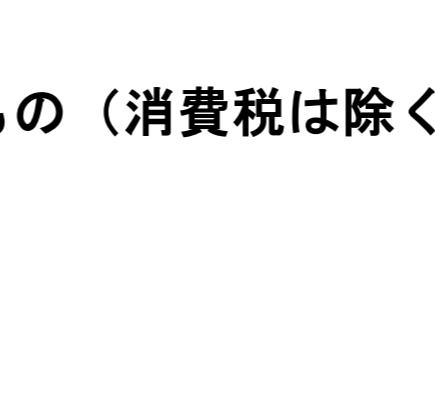
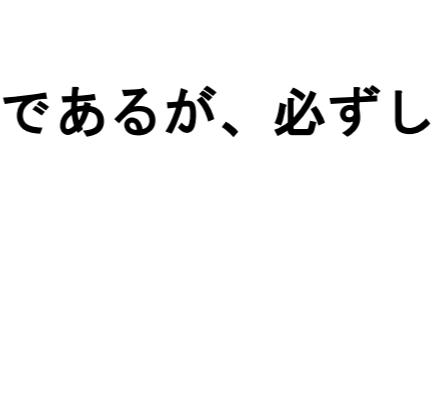
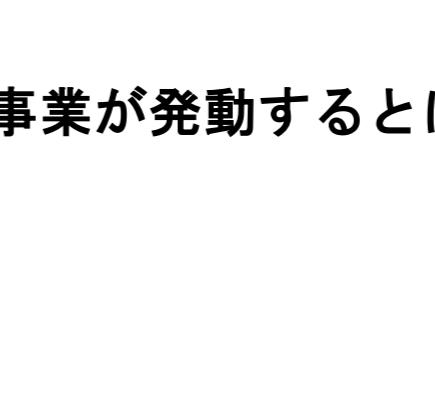
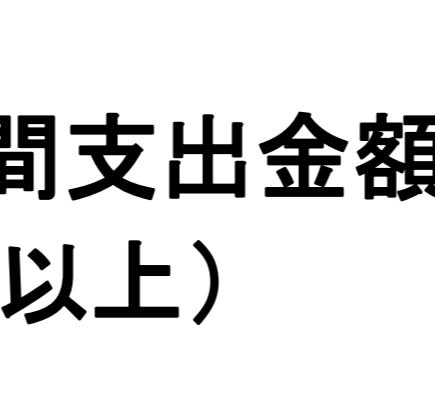
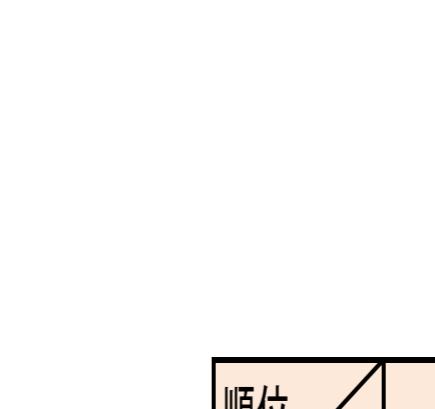
種類	5月の価格情報		6月		6月上旬の関東及び近畿ブロックの入荷量( )内は、本年と過去3カ年平均値との比率	主産地	生育及び価格の7月上旬までの見通し		※レポートの読み方については、注意書きを参照してください			
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価額	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格				「図の見方」	見通しの価格水準	平均価格	平均価格		
			下旬	上旬					現時点の価格水準			
葉茎菜類	キャベツ	88.59 67.20	77 (115%)	67.20 (101%)	68 (101%)	68 (88%)	千葉(50), 茨城(24), 群馬(10)		千葉産は、出荷終盤を迎えるなか、4、5月の天候不順の影響から出荷がずれ込み、現在平年より多めの出荷となっている。茨城産は、好天に恵まれ肥大が進み、前進出荷となっていることから、引き続き平年より多めの出荷の見込み。群馬産は、6月の降雨と好天により遅れていた生育が回復したことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。			
		91.02 81.66	80 (98%)	81.66 (84%)	69 (91%)	74 (103%)	茨城(34), 愛知(18), 長野(13), 群馬(8)		群馬産は平年並みと見込まれるもの、千葉産及び茨城産の出荷が平年より多めと見込まれることから、現在平均並みの価格は、横ばいで推移するものの、7月から平均価格の水準が上がることから、平均を下回って推移する見込み。			
	たまねぎ	78.12 (122%)	95	78.12 (120%)	94 (111%)	87 (127%)	佐賀(40), 兵庫(19), 香川(12)		佐賀産は、作付面積の減少から、平年より少なめの出荷となっており、中晩生の終盤期で干ばつ傾向により肥大が鈍いこともあり、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。兵庫産は、中生が終了し晩生の出荷が中心となっており、引き続き平年並みの出荷の見込み。香川産は、天候に恵まれ生育は順調で豊作傾向となっていることから、引き続き平年より多めの出荷の見込み。			
		78.12 (133%)	104	78.12 (125%)	98 (108%)	84 (113%)	兵庫(69), 北海道(11), 佐賀(8)		香川産の出荷が平年より多めと見込まれるもの、佐賀産及び兵庫産が平年より少なめまたは平年並みと見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、横ばいで推移するものの、7月から平均価格の水準が上がることから、平均を下回って推移する見込み。			
	ねぎ (関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ)	277.31 (135%)	374	277.31 (138%)	383 (149%)	412 (118%)	茨城(66), 千葉(20)		茨城産は、干ばつ傾向で肥大が鈍いものの、初夏ねぎが出荷のピークを迎えており、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、夏ねぎが本格的な出荷を迎え、現在平年並みの出荷となっており、作付面積の増加もあり、今後は平年より多めの出荷の見込み。			
		334.73 (85%)	286	334.73 (84%)	280 (84%)	280 (84%)	徳島(28), 香川(20), 三重(16), 奈良(13)		千葉産の出荷が平年より多めと見込まれるもの、茨城産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。			
	はくさい	67.05 (67%)	45	67.05 (78%)	52 (125%)	84 (131%)	長野(55), 茨城(25)		長野産は、干ばつ傾向で肥大が鈍いもの、初夏ねぎが出荷のピークを迎えており、引き続き平年並みの出荷の見込み。茨城産は、出荷終盤を迎えるなか、現在平年並みの出荷となっており、例年通り6月末には切り上がる見込み。			
		74.06 (105%)	78	74.06 (101%)	75 (116%)	86 (116%)	長野(86)		長野産の出荷が平年並みに回復が見込まれ、現在平均を上回っている価格は、平均に近づくものの、産地の切り替り時期であることから、引き続き平均を上回って推移する見込み。			
	ほうれんそう	376.10 (116%)	436	376.10 (126%)	475 (136%)	513 (99%)	群馬(29), 茨城(27), 栃木(15)		群馬産は、5月から夜温が低いため、生育がやや遅れているものの、引き続き平年並みの出荷の見込み。茨城産は、生育は概ね順調なことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。栃木産は、4、5月の低温等の影響により生育が遅れていることから、7月初旬までは平年より少なめ、初旬以降は平年並みに回復する見込み。			
		416.73 (125%)	520	416.73 (140%)	582 (159%)	661 (89%)	岐阜(79)		3つの主産地の出荷が平年並みまたは平年並みに回復すると見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、横ばいで推移するものの、7月から平均価格の水準が上がることから、平均価格を下回って推移する見込み。			
	レタス (結球)	156.23 (62%)	97	120.13 (89%)	107 (92%)	111 (96%)	長野(72)		長野産は、6月に入ってからの降雨で干ばつ傾向が解消され、現在少なめの出荷量は、今後は平年並みに回復する見込み。			
		165.00 (62%)	103	125.61 (95%)	119 (94%)	118 (89%)	長野(97)		長野産の出荷は平年並みに回復すると見込まれることから、現在平均を下回っている価格は、引き続き平均を下回って推移する見込み。			
果菜類	きゅうり	189.84 (113%)	214	189.84 (122%)	231 (138%)	262 (99%)	埼玉(26), 群馬(19), 福島(15), 岩手(15), 秋田(3)		埼玉産は、5月の気温高により、加温、無加温作とも成り疲れが出ていることから、引き続き少なめの出荷の見込み。群馬産は、出荷終盤を迎えるなか、平年並みの出荷量となっており、7月初旬には切り上がりを見込み。福島産は、露地作が低温等による影響から、現在平年より少なめの出荷となっており、生育は概ね順調であるものの、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。岩手産は、6月以降曇天の影響により、平年より少なめの出荷となっている。夜温が低く、梅雨に入ったこともあり、今後は平年より少なめの出荷である見込み。秋田産は、7月には本格出荷を迎えるなか、低温の影響による出荷の遅れから現在は平年よりもや少なめの出荷であるものの、平年並みの出荷に回復する見込み。			
		186.08 (103%)	192	186.08 (101%)	188 (118%)	220 (108%)	宮崎(28), 愛媛(12), 群馬(12), 福島(10), 高知(10)		群馬産の出荷が平年並み、秋田産が平年並みに回復すると見込まれるもの、埼玉産、福島産及び岩手産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。			
	トマト (大玉)	230.55 (106%)	245	230.55 (104%)	240 (113%)	260 (92%)	栃木(23), 千葉(13), 熊本(13), 茨城(11), 愛知(10), 青森(2)		栃木産は、冬春作が出荷終盤を迎えるなか、現在平年並みの出荷となっており、7月上旬には切り上がる見込み。千葉産は、無加温作が盛期に入り、生育、作柄とともに良好であることから、今後も平年並みの出荷の見込み。熊本産は、出荷終盤を迎えるなか、低温の影響で、平年より少なめの出荷量となっており、例年通り県内の主要産地は、6月末で切り上がる見込み。茨城産は、これまでの前進出荷の影響から、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。愛知産は、出荷終盤期を迎えており、着果は概ね順調で肥大も良好なことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。青森産は、7月には本格出荷を迎えるなか、天候不順による出荷の遅れから現在は平年より少なめの出荷であるものの、平年並みの出荷に回復する見込み。			
		239.96 (112%)	268	239.96 (105%)	251 (110%)	265 (105%)	熊本(44), 北海道(17), 石川(9)		栃木産、千葉産、愛知産及び青森産の出荷が平年並みと見込まれるもの、茨城産が平年より少なめと見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。			
	なす	311.92 (116%)	362	311.92 (111%)	347 (117%)	365 (116%)	高知(30), 群馬(15), 福岡(15), 栃木(11)		高知産は、出荷終盤を迎えるなか、引き続き平年より多めの出荷で、例年通り7月上旬にかけて切り上がる見込み。福岡産は、品質に問題なく安定した出荷が続いていることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。群馬産は、露地作の生育が順調であることから、引き続き多めの出荷の見込み。栃木産は、生育は概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。			
		271.01 (128%)	347	271.01 (119%)	323 (118%)	319 (113%)	高知(21), 大阪(19), 熊本(16), 福岡(14)		高知産及び群馬産の出荷が平年より多めと見込まれるもの、福岡産及び栃木産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、平均に近づくものの、引き続き平均を上回って推移する見込み。			
	ピーマン	339.20 (95%)	321	276.65 (115%)	319 (121%)	336 (94%)	茨城(83), 岩手(5)		茨城産は、出荷後期を迎える一部ほ場で病害が散見されるものの、引き続き平年並みの出荷の見込み。岩手産は、7月には本格出荷を迎えるなか、天候不順による出荷の遅れから、現在は平年より少なめの出荷であるものの、7月初めより平年並みの出荷に回復する見込み。			
		311.41 (75%)	235	293.32 (85%)	249 (89%)	262 (89%)	宮崎(32), 高知(17), 茨城(17), 大分(9)		茨城産の出荷が平年並み、岩手産の出荷が平年並みに回復すると見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、平均に近づくものの、引き続き平均を上回って推移する見込み。			
根菜類	だいこん	86.59 (77%)	67	86.59 (74%)	64 (133%)	115 (92%)	青森(54), 千葉(22)		青森産は、トンネル作とべた作の端境が生じていることから、現在平年より少なめの出荷となっているものの、今後は平年並みの出荷の見込み。千葉産は、現在出荷終盤を迎えるなか、平年並みの出荷量となっており、6月末には切り上がりの見込み。			
		89.53 (69%)	62	89.53 (87%)	78 (142%)	127 (78%)	青森(39), 北海道(37)		青森産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、平均に近づくものの、引き続き平均を上回って推移する見込み。			
	にんじん	156.99 (80%)	126	133.01 (101%)	135 (101%)	135 (107%)	千葉(72), 青森(4)		千葉産は、出荷の盛期を迎えており、5月の干ばつ傾向の影響で肥大が遅れていることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。青森産は、7月には本格出荷を迎えるなか、引き続き平年並みの出荷の見込み。			
		148.36 (67%)	99	132.62 (80%)	106 (81%)							

## 1 主要野菜の生産出荷状況

種類	5月の価格情報			6月		6月上旬の関東及び近畿ブロックの入荷量( )内は、本年と過去3カ年平均値との比率	主産地	生育及び価格の7月上旬までの見通し		
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格		指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額			「図の見方」		
	下旬	上旬	中旬	上旬	中旬			現時点の価格水準	平均価格(点線)	見通しの価格水準
いも類	138.39 (105%)	145	138.39 (101%)	140 (98%)	135 (98%)	・4,412t (112%)	長崎(52), 静岡(14), 茨城(11)			
	144.98 (103%)	149	144.98 (97%)	141 (97%)	140 (97%)	・1,471t (96%)	長崎(65), 北海道(16), 静岡(8)			

注：1 平均価格は、過去6カ年（平成20～25年）の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均（消費税は除く）で、保証基準額の算定の基となる価格。  
2 旬別平均販売価額の赤字及び青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は保証基準額（平均価格の90%）を下回るもの（消費税は除く）であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。  
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。  
4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（ ）内は入荷シェアで平成27年実績である。  
5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聞き取りをもとに機構が作成したもの。  
6 キャベツの平均価格は、上段が5月1～15日まで、下段は5月16日～31日までの価格である。

## 1 主要野菜の生産出荷状況（特定野菜）

種類	5月の価格情報			6月		6月上旬の東京都及び大阪市場の入荷量( )内は、本年と過去3カ年平均値との比率	主産地	生育及び価格の7月上旬までの見通し				
	(参考)過去5カ年平均価格		東京都・大阪市場の旬別価格	(参考)過去5カ年平均価格				「図の見方」				
	下旬	上旬	中旬	上旬	中旬			現時点の価格水準	平均価格(点線)	見通しの価格水準		
洋菜類	344.20 (114%)	394	397.28 (89%)	355	464 (117%)	・641t (134%)	長野(28), 福島(14), 青森(13), 米国(11)					
	363.21 (108%)	394	398.10 (91%)	363	475 (119%)	・214t (118%)	長野(29), 鳥取(21), 香川(14), 徳島(10)					
葉茎菜類	1180.07 (115%)	1353	1146.51 (125%)	1438	1673 (146%)	・163t (82%)	北海道(23), 佐賀(18), 長崎(11), 栃木(8)					
	1331.67 (116%)	1542	1107.97 (130%)	1442	1643 (148%)	・42t (85%)	福岡(26), 佐賀(21), 長崎(15), タイ(14)					
こまつな	215.24 (92%)	197	255.29 (116%)	297	365 (143%)	・266t (95%)	茨城(39), 埼玉(26), 群馬(14)					
	178.27 (85%)	152	189.07 (107%)	203	289 (153%)	・140t (113%)	福岡(85)					

注：1 平均価格は、過去5カ年（平成24～28年）の東京都及び大阪市中央卸売市場の価格。  
2 旬別価格は、上段は東京都中央卸売市場、下段は大阪市中央卸売市場であり、単位は円/kgである。  
3 旬別価格の赤字及び青の背景は、平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は平均価格を80%を下回るもの（消費税は除く）であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。  
4 生産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（ ）内は入荷シェアで平成27年実績である。

## 2 トピック ー トマトの需給動向について ー

